

# 1. 卒業要件の見方

2014～2015年度入学者

## 【英語英文学科】

### 《卒業要件》

#### 【科目区分・科目系列】

科目のカリキュラム上の分類  
科目区分・科目系列ごとに卒業のために  
必要となる単位数が定められています。

の要件を  
「数」を満  
24単位  
すること。

#### 【所定単位数】

その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単  
位数。これらを全て満たしていない場合、卒業必要単位数  
(124～134 単位) を修得しても卒業不可となります。

科目区分	科目系列	所定単位数		上限 単位数 ※1	履修方法
		内訳	計		
教育学部 共通科目	人文系	—	12	20	◇社会系 然系・ するこ ◇所定 但し、 一設置科 2単位までを卒業単 位に算入することができる。
	社会系	4			
	自然系	4			
	数理情報系	—			
	総合系	—			
	体育系	—			
外国語科目	外国語A	基礎	4	26	◇外国語A 位、「外 国語演習 ら2単位 者に ◇外国語A した単位 単位数と ◇英語英文 し、合 卒業要件 TOEIC 等の外部試験で基準点以上を取得すること で、英語卒業要件を満たすことも可能です。その 場合英語科目の履修は必要ありませんが、卒業必 要単位数(124～134 単位)は変わりませんので、 この分を他の科目区分から修得しなければなり ません。 グローバルエデュケーションセンター設置の英語 科目で英語卒業要件を満たす場合は申請方法に注 意が必要です。(→「2. その他の注意事項」)
		コミュニ 語演習	2		
		ツール	2		
	外国語B (英語)	基礎	(10)		
		初級			
		中級			
上級	—				
その他の外国語	—				
専門教育科目 (自学科)	専門 必修科目	1年	20	—	◇英語英文 し、合 卒業要件 TOEIC 等の外部試験で基準点以上を取得すること で、英語卒業要件を満たすことも可能です。その 場合英語科目の履修は必要ありませんが、卒業必 要単位数(124～134 単位)は変わりませんので、 この分を他の科目区分から修得しなければなり ません。 グローバルエデュケーションセンター設置の英語 科目で英語卒業要件を満たす場合は申請方法に注 意が必要です。(→「2. その他の注意事項」)
		2年	22		
		3年	6		
		4年	10		
	専門選択科目	28			
② 《卒業所定単位数》	—	124	—	◇①科目区分・科目 単位数に加えて、上記科目区分より上限単位数を 超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定 単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定 試験により満たし、英語10単位の修得が不要 になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修 得が必要となる。	

## 2. その他の注意事項

- ①グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合、Web科目申請時に科目区分を変更して申請する必要があります。その際、グローバルエデュケーションセンターが定めている英語レベルと、教育学部が定めている英語レベルが異なりますので、必ず**授業ガイドの「グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧」**を確認し、自身の英語レベル以上の科目を履修申請してください。(例：「General Tutorial English (中級)」は教育学部では「初級」の扱いとなります。)
- ②2016年度入学者から卒業要件が大きく変更されていますので、該当する入学年度のページを熟読してください。
- ③2019年度以降入学者は、科目区分別の卒業算入上限単位数はありません。しかしながら、一部の科目区分の単位を偏って履修しないよう、体系的に学ぶよう心掛けてください。

### 3. 成績照会画面の見方

MyWasedaの成績照会画面を開き「単位修得状況の照会」をクリックすると、これまでの単位の修得状況を確認することができます。

教務・成績・教育 > 試験成績 > 成績照会

学生検索

1E13A000      さんの成績です。

学籍状態	在学中
判定結果	
外国語	
クラス	A1
発表開始日付	2012年10月30日 09時00分

単位修得状況の照会  
伝達事項があります  
※必ず確認してください。

クリック

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

科目名	取得年度	学期	単位	成績
◎教育学部共通科目◎				
【人文系】				

単位修得状況は科目登録、成績発表時には必ず確認してください。  
授業ガイドより卒業要件を確認の上、卒業に必要な科目を履修してください。

#### 【科目区分名】

科目のカリキュラム上の分類  
科目区分・科目系列ごとに卒業のために必要となる単位数が定められています。

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

科目区分名	所定	既得	算入
教育学部共通科目			
人文系		2	2
社会系	4	4	4
自然系	4	0	0
数理情報系		2	2
総合系		0	0
小計	12	8	8
体育系		1	1
小計		9	9
外国語科目			
外国語A	8	4	4
<仏語(基礎)>	4	4	4
<仏語(コミュ基礎)>	2	0	0
<仏語(演習・ツール)>	2	0	0
外国語B		2	2
外国語その他		0	0
小計	8	6	6
一年必修	20	20	20
二年必修	22	2	2
三年必修	6	0	0
四年必修	10	0	0
小計	58	22	22
専門教育科目(選択)	28	8	8
自由選択科目		0	0
教職課程科目		0	0
小計		0	0
小計		0	0
小計		2	0
小計		2	0
小計		20	0
小計		20	0
《上記以外の卒業要件》		0	0
英語卒業要件(上級以上)	10	2	2
<英語(上級)>	4	2	2
総合計	124	67	45

#### 【《上記以外の卒業要件》】

学科専攻専修によって定められた卒業要件  
2011～2013 年度入学の英語英文学科の場合、  
以下の要件があります。  
※入学年度により要件が異なります。

- ①英語卒業要件
- ②英語「上級」科目レベル4 単位以上修得

#### 【所定・既得・算入】

「所定」…その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。授業ガイドの「所定単位数」を意味します。  
「既得」…科目区分・科目系列ごとの修得した総単位数。卒業所定単位に算入されない単位も含まれます。  
「算入」…科目区分・科目系列ごとの修得した卒業所定単位に算入される総単位数。随意科目は含みません。

よって、卒業要件を満たすには「所定単位数 ≤ 算入単位数」となるように単位を修得し、全体で卒業必要単位数（124～134 単位）を修得しなければなりません。その際、各科目区分の算入上限単位数にご確認ください。※

※科目登録の際は、各科目区分の単位修得状況と授業ガイドの卒業要件のページを確認してください。科目区分に上限単位数が設定されている場合、上限単位数以上に履修申請をしても、上限を超えた分の単位は卒業単位に算入されません。

## 【英語英文学科】

## 《卒業要件》

本学科を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		履修方法	
		内訳	計		
教育学部 共通科目	人文系	—	4	12	◇社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。 <b>但し、体育系についてはグローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り卒業単位の算入することができる。</b>
	社会系	4			
	自然系	4			
	数理情報系	—			
	総合系	—			
	体育系	—			
外国語科目	外国語A	基礎	4	6	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 <b>なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。</b> ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。
		コミュニ	2		
		語演習	—		
		ツール	—		
	外国語B （英語）	基礎	(12)		
		初級			
中級					
上級	—				
その他の外国語	—				
専門教育科目 （自学科）	必修科目	1年	14	42	◇英語英文学科設置の全必修科目およびグローバルエデュケーションセンター設置の「General Tutorial English」を配当年次にしたがって履修し、合計42単位を修得すること。  ◇英語英文学科設置の選択必修科目を配当年次にしたがって履修し、文学・文化系、言語学・応用言語学系の各系列からそれぞれ6単位、合計12単位を履修すること。  ◇英語英文学科設置の専門選択科目から24単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。
		2年	12		
		3年	4		
		4年	12		
	選択 必修科目	文学・文化系	6	12	
		言語学・応用 言語学系	6		
	専門 選択科目	文学・文化系	—	24	
		言語学・応用 言語学系	—		
		スキル系	—		
		留学・インター シップ系	—		
専門教育科目 （他学科） （他専修）	専門選択科目	—	—	◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は卒業単位の算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位の算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 <b>但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位の算入されない科目については、算入することができない。</b>	
他箇所 設置科目 ※	他学部科目	—	—	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 <b>なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。</b>	
	他大学科目	—	—		
	自由選択科目 （全学部対象科目）	—	—		
教職課程科目※ （教職に関する科目のみ）		—	—	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。	
①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計		96	(108)		

②《卒業所定単位数》	124	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計96（108）単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語12単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。
------------	-----	---

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

## 《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
0点 ～ 429点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計12単位 但し、「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
430点 ～ 599点	初級	「初級」レベル以上の科目を計12単位 但し、「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
600点 ～ 719点	中級	「中級」レベル以上の科目を計12単位 但し、「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
720点 ～ 1000点	上級	「上級」レベルの科目を計12単位

**※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位数に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位数非算入(随意科目)の場合は、上記要件を満たしたことになる。**

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。手続期間は春学期末・秋学期末の15週目、16週目の期間です。手続方法については、毎学期掲示や教育学部ホームページで案内します。

### 【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	600点以上
TOEFL (iBT)	100点以上
実用英語技能検定(英検)	1級

## 《履修上の注意》

### ◇WeTEC と TOEFL ITP 受験について

英語英文学科では、入学時に学部で実施する WeTEC と、毎年春に学科で実施する TOEFL ITP のスコアを次の目的で使用します。

#### 1. WeTEC スコア: 以下の科目におけるクラス分け

- (1) 1年次必修科目「Introduction to Language and Communication」、 「Introduction to Literature and Culture」
- (2) 外国語科目「外国語B」
- (3) グローバルエデュケーションセンター設置科目「General Tutorial English」 (1年必修)

#### 2. TOEFL ITP スコア: 1年次秋学期の学科指定日に受験するものは、2年次必修科目「Academic Reading & Writing I、II」のクラス分けと、2年次秋学期に行うゼミの登録に使用します。また、各年次におけるスコアの提出が、ゼミの単位修得の条件となります。

※3年次秋学期の「英米文学語学演習I-2」の単位修得には、TOEFL において学科指定のスコア以上を取得していることが必須です。TOEFL スコアは、毎年各学年で実施する TOEFL ITP (実験実習費による団体受験) の他、必要に応じて個人受験のスコアの使用も可能です。学科指定スコアについては、CourseN@vi の英語英文学科連絡用メニューを通じ学生に周知します。

### ◇1年生に対する注意

専門選択科目について、専門性を高めるために、卒業までに文学・文化系、あるいは言語学・言語学系のいずれかの系列から20単位以上を修得することが望ましいです。

### ◇グローバルエデュケーションセンター設置科目「General Tutorial English」(1年必修)の単位未修得時の対応について

1年次に「General Tutorial English」の単位を修得できなかった場合は以下のいずれかの方法で単位を修得する必要があります。但し、なるべく「General Tutorial English」の単位を修得することが望ましいです。

1. 「General Tutorial English」を再履修する。(聴講料支払期間に聴講料の支払い手続きが必要です。)
2. 以下3科目の内1科目を履修する。(WEBから履修申請する際に科目区分を「1年必修」に変更して申請すること。)

①「Current Affairs in English」 ②「Developing Skills for Learning English」 ③「Debate in English」

### ◇留学・インターンシップ

専門選択科目の「Short-Term Study Abroad」と「Overseas Internship」では、学科の審査で適切と認められた場合に、留学センター設置科目以外の短期海外留学やインターンシップと事前・事後指導への参加で各2単位を修得できます。事前準備に通常1年程度の時間を要するため、希望者は早めに計画を立て、上記授業の担当教員と連絡を取りながら準備を進めてください。シラバス掲載のスケジュールに従って、留学またはインターンシップの内容を詳細に説明した資料、目的、活動計画を担当教員に持参し、科目登録の許可を得てください。科目登録期間外の登録はできませんので、余裕をもって準備を進めてください。

### ◇ゼミ

「英米文学語学演習I-1、I-2」(3年必修)・「英米文学語学演習II-1、II-2」(4年必修)はゼミ科目であり、ゼミごとに「英米文学語学演習I-1」は「英米文学語学演習II-1」と、また「英米文学語学演習I-2」は「英米文学語学演習II-2」との合併授業として3・4年次に行われます。「英米文学語学演習I-1、I-2」のクラスは2年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「英米文学語学演習II-1」「英米文学語学演習II-2」は、「英米文学語学演習I-1」「英米文学語学演習I-2」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

### ◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

### ◇進学

大学院進学希望者は、大学院入試や入学後の研究上の必要を考慮し外国語科目を履修してください。大学院の課程によっては入試科目として第二外国語が指定される場合もあります。

## 【英語英文学科】

科目区分	科目系列	所定単位数		上限 単位数 ※1	履修方法	
		内訳	計			
教育学部 共通科目	人文系	—	12	20	◇社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、8単位まで系列に係わらず卒業単位に算入される。 <b>但し、体育系についてはグローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り2単位までを卒業単位に算入することができる。</b>	
	社会系	4				
	自然系	4				
	数理情報系	—				
	総合系	—				
	体育系	—				
外国語科目	外国語A	基礎	4	26	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 <b>なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。</b> ◇外国語Aおよび外国語B（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、8単位（英語力判定試験で要件を満たす場合は20単位）まで卒業単位に算入される。	
		コミュニ	2			
		語演習	—			
		ツール	—			
	外国語B （英語）	基礎	(12)			
		初級				
中級						
上級						
その他の外国語	—					
専門教育科目 （自学科）	必修科目	1年	14	42	◇英語英文学科設置の全必修科目およびグローバルエデュケーションセンター設置の「General Tutorial English」を配当年次にしたがって履修し、合計42単位を修得すること。	
		2年	12			
		3年	4			
		4年	12			
	選択 必修科目	文学・文化系	6	12	◇英語英文学科設置の選択必修科目を配当年次にしたがって履修し、文学・文化系、言語学・応用言語学系の各系列からそれぞれ6単位、合計12単位を履修すること。	
		言語学・応用 言語学系	6			
	専門 選択科目	文学・文化系	—	24	46	◇英語英文学科設置の専門選択科目から24単位を修得すること。スキル系科目については4単位を算入上限とする。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、22単位まで卒業単位に算入される。
		言語学・応用 言語学系	—			
		スキル系	—			
		留学・インター シップ系	—			
	専門教育科目 （他学科） （他専修）	専門選択科目	—	8	◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は合計8単位まで卒業単位に算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 <b>但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目については、算入することができない。</b>	
	他箇所 設置科目 ※2	他学部科目	—	8	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、8単位まで卒業単位に算入することができる。 <b>なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。</b>	
他大学科目		—				
	自由選択科目 （全学部対象科目）	—	8			
教職課程科目※2 （教職に関する科目のみ）		—	18	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、18単位まで卒業単位に算入することができる。		
①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計		96 (108)				

②《卒業所定単位数》	124	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計96（108）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語12単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。
------------	-----	--

※1. 卒業単位に算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。

※2. 科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

## 《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
0点 ～ 429点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計12単位 但し、「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
430点 ～ 599点	初級	「初級」レベル以上の科目を計12単位 但し、「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
600点 ～ 719点	中級	「中級」レベル以上の科目を計12単位 但し、「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
720点 ～ 1000点	上級	「上級」レベルの科目を計12単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位数に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位数非算入(随意科目)の場合は、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。

### 【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	600点以上
TOEFL (iBT)	100点以上
TOEIC	880点以上
実用英語技能検定(英検)	1級

## 《履修上の注意》

### ◇WeTEC と TOEFL ITP 受験について

英語英文学科では、入学時に学部で実施する WeTEC と、毎年春に学科で実施する TOEFL ITP のスコアを次の目的で使用します。

#### 1. WeTEC スコア: 以下の科目におけるクラス分け

- (1) 1年次必修科目「Introduction to Language and Communication」、 「Introduction to Literature and Culture」
- (2) 外国語科目「外国語B」
- (3) グローバルエデュケーションセンター設置科目「General Tutorial English」 (1年必修)

#### 2. TOEFL ITP スコア: 1年次秋学期の学科指定日に受験するものは、2年次必修科目「Academic Reading & Writing I、II」のクラス分けと、2年次秋学期に行うゼミの登録に使用します。また、各年次におけるスコアの提出が、ゼミの単位修得の条件となります。

※3年次秋学期の「英米文学語学演習I-2」の単位修得には、TOEFL において学科指定のスコア以上を取得していることが必須です。TOEFL スコアは、毎年各学年で実施する TOEFL ITP (実験実習費による団体受験) の他、必要に応じて個人受験のスコアの使用も可能です。学科指定スコアについては、CourseN@vi の英語英文学科連絡用メニューを通じ学生に周知します。

### ◇1年生に対する注意

専門選択科目について、専門性を高めるために、卒業までに文学・文化系、あるいは言語学・言語学系のいずれかの系列から20単位以上を修得することが望ましいです。

### ◇グローバルエデュケーションセンター設置科目「General Tutorial English」(1年必修)の単位未修得時の対応について

1年次に「General Tutorial English」の単位を修得できなかった場合は以下のいずれかの方法で単位を修得する必要があります。但し、なるべく「General Tutorial English」の単位を修得することが望ましいです。

1. 「General Tutorial English」を再履修する。(聴講料支払期間に聴講料の支払い手続きが必要です。)
2. 以下3科目の内1科目を履修する。(WEBから履修申請する際に科目区分を「1年必修」に変更して申請すること。)

①「Current Affairs in English」②「Developing Skills for Learning English」③「Debate in English」

### ◇留学・インターンシップ

専門選択科目の「Short-Term Study Abroad」と「Overseas Internship」では、学科の審査で適切と認められた場合に、留学センター設置科目以外の短期海外留学やインターンシップと事前・事後指導への参加で各2単位を修得できます。事前準備に通常1年程度の時間を要するため、希望者は早めに計画を立て、上記授業の担当教員と連絡を取りながら準備を進めてください。シラバス掲載のスケジュールに従って、留学またはインターンシップの内容を詳細に説明した資料、目的、活動計画を担当教員に持参し、科目登録の許可を得てください。科目登録期間外の登録はできませんので、余裕をもって準備を進めてください。

### ◇ゼミ

「英米文学語学演習I-1、I-2」(3年必修)・「英米文学語学演習II-1、II-2」(4年必修)はゼミ科目であり、ゼミごとに「英米文学語学演習I-1」は「英米文学語学演習II-1」と、また「英米文学語学演習I-2」は「英米文学語学演習II-2」との合併授業として3・4年次に行われます。「英米文学語学演習I-1、I-2」のクラスは2年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「英米文学語学演習II-1」「英米文学語学演習II-2」は、「英米文学語学演習I-1」「英米文学語学演習I-2」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

### ◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

### ◇進学

大学院進学希望者は、大学院入試や入学後の研究上の必要を考慮し外国語科目を履修してください。大学院の課程によっては入試科目として第二外国語が指定される場合もあります。

## 【英語英文学科】

## 《卒業要件》

本学科を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		上限 単位数 ※1	履修方法
		内訳	計		
教育学部 共通科目	人文系	—	12	20	◇社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて20単位まで系列に係わらず卒業単位の算入される。 <b>但し、体育系についてはグローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り2単位までを卒業単位の算入することができる。</b>
	社会系	4			
	自然系	4			
	数理情報系	—			
	総合系	—			
	体育系	—			
外国語科目	外国語A	基礎	4	26	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位、「外国語演習I～IV」または「ツールとしての外国語I～V」から2単位の合計8単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 <b>なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。</b> ◇外国語Aおよび外国語B（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、所定単位数と合わせて26単位まで卒業単位の算入される。
		コミュニ	2		
		語演習	2		
	外国語B (英語)	基礎	(10)		
		初級			
中級					
上級	—				
その他の外国語	—	—			
専門教育科目 (自学科)	専門 必修科目	1年	20	58	◇英語英文学科設置の全必修科目およびグローバルエデュケーションセンター設置の「General Tutorial English」を配当年次にしたがって履修し、合計58単位を修得すること。
		2年	22		
3年		6			
4年		10			
	専門選択科目	—	28	46	◇英語英文学科設置の専門選択科目から28単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて46単位まで卒業単位の算入される。
専門教育科目 (他学科) (他専修)	専門選択科目	—	—	8	◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は合計8単位まで卒業単位の算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位の算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 <b>但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位の算入されない科目については、算入することができない。</b>
他箇所 設置科目 ※2	他学部科目	—	—	8	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、8単位まで卒業単位の算入することができる。 <b>なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。</b>
	他大学科目	—	—		
	自由選択科目 (全学部対象科目)	—	—	8	
	教職課程科目※2 (教職に関する科目のみ)	—	—	18	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、18単位まで卒業単位の算入することができる。
①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計		106	(116)		
②《卒業所定単位数》		124			◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計106(116)単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語10単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※1. 卒業単位の算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。

※2. 科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

## 《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
0点 ～ 429点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計10単位 但し、「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
430点 ～ 599点	初級	「初級」レベル以上の科目を計10単位 但し、「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
600点 ～ 719点	中級	「中級」レベル以上の科目を計10単位 但し、「上級」レベル科目が4単位以上含まれていること。
720点 ～ 1000点	上級	「上級」レベルの科目を計10単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位非算入(随意科目)の場合は、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。

### 【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	600点以上
TOEFL (iBT)	100点以上
TOEIC	880点以上
実用英語技能検定(英検)	1級

## 《履修上の注意》

### ◇WeTECとTOEFL ITP受験について

英語英文学科では、入学時に学部で実施する WeTEC と、毎年春に学科で実施する TOEFL ITP のスコアを次の目的で使用します。

#### 1. WeTECスコア:以下の科目におけるクラス分け

- (1)外国語科目「外国語B」
- (2)グローバルエデュケーションセンター設置科目「General Tutorial English」(1年必修)

#### 2. TOEFL ITPスコア:2年次春学期に受験したスコアを2年次秋学期に行うゼミの登録に使用します。また、各年次におけるスコアの提出が、ゼミの単位修得の条件となります。

※4年次秋学期の「英米文学語学演習Ⅱ-2」の単位修得には、TOEFLにおいて学科指定のスコア以上を取得していることが必須です。TOEFLスコアは、毎年各学年で実施するTOEFL ITP(実験実習費による団体受験)の他、必要に応じて個人受験のスコアの使用も可能です。学科指定スコアについては、CourseN@viの英語英文学科連絡用メニューを通じ学生に周知します。

### ◇グローバルエデュケーションセンター設置科目「General Tutorial English」(1年必修)の単位未修得時の対応について

1年次に「General Tutorial English」の単位を修得できなかった場合は以下のいずれかの方法で単位を修得する必要があります。但し、なるべく「General Tutorial English」の単位を修得することが望ましいです。

1. 「General Tutorial English」を再履修する。(聴講料支払期間に聴講料の支払い手続きが必要です。)
2. 「Debate in English」(専門選択科目)を履修する。

「Debate in English」で必修科目の単位を満たす場合は科目区分を『専門選択』から『1年必修』へ変更してください。科目登録期間中にWEB履修申請画面から科目区分を変更して履修申請してください。科目登録期間外の変更はできませんのでご注意ください

### ◇留学・インターンシップ

専門選択科目の「Short-Term Study Abroad」と「Overseas Internship」では、学科の審査で適切と認められた場合に、留学センター設置科目以外の短期海外留学やインターンシップと事前・事後指導への参加で各2単位を修得できます。事前準備に通常1年程度の時間を要するため、希望者は早めに計画を立て、上記授業の担当教員と連絡を取りながら準備を進めてください。シラバス掲載のスケジュールに従って、留学またはインターンシップの内容を詳細に説明した資料、目的、活動計画を担当教員に持参し、科目登録の許可を得てください。科目登録期間外の登録はできませんので、余裕をもって準備を進めてください。

### ◇ゼミ

「英米文学語学演習Ⅰ-1、Ⅰ-2」(3年必修)・「英米文学語学演習Ⅱ-1、Ⅱ-2」(4年必修)はゼミ科目であり、ゼミごとに「英米文学語学演習Ⅰ-1」は「英米文学語学演習Ⅱ-1」と、また「英米文学語学演習Ⅰ-2」は「英米文学語学演習Ⅱ-2」との合併授業として3・4年次に行われます。「英米文学語学演習Ⅰ-1、Ⅰ-2」のクラスは2年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「英米文学語学演習Ⅱ-1」「英米文学語学演習Ⅱ-2」は、「英米文学語学演習Ⅰ-1」「英米文学語学演習Ⅰ-2」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

### ◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

### ◇進学

大学院進学希望者は、大学院入試や入学後の研究上の必要を考慮し外国語科目を履修してください。大学院の課程によっては入試科目として第二外国語が指定される場合もあります。

**◇一年必修「米文学講読 II」の代替科目について**

一年必修科目「米文学講読 II」の単位を未修得の場合は、専門選択科目「アメリカ小説研究」を履修し申請し、教育学部事務所で科目区分変更の手続きを行ってください。手続きを行わないと、科目区分を必修科目に変更することはできませんので注意してください。